

令和7年度 埼玉県 「性に関する指導」指導者研修会

中学校指導事例 第3学年「健康な生活と疾病の予防」

埼玉県加須市立加須東中学校

教諭 久保 あかね

（元加須市立昭和中学校）



校訓 一所懸命

あいつつ日本一 昭和中

あいつつ日本一 昭和中
加須市立昭和中 校

加須

学校の概要

埼玉県加須市立昭和中学校

開 校：昭和25年

生徒数：592名

学級数：21（通常級15学級 特別支援6学級）

学校教育目標

「自ら学び 真剣に働く 心豊かで たくましい生徒」

目指す学校像

「安心・安全で、夢を育み未来へ導くため、地域と協働する学校」

指導内容の系統性

小学校

中学校

高等学校

生涯

指導内容の系統性

小学校

「体の発育・発達」



中学校

「心身の機能の
発達と心の健康」

「健康な生活と
疾病の予防」



高等学校

「生涯を通じる健康」

「現代社会と健康」



生涯

障害を通じて自らの健康を適切に管理し
改善していく脂質や能力の育成



指導内容の系統性

中学校

「健康な生活と疾病の予防」(3年)

1時間目

【感染症の広がり方】

- 病原体の種類によって、感染経路が異なること
- 感染症には広がる条件があること

2時間目

【感染症の予防】

- 感染症には3つの予防策があること
- 感染症に罹った場合は、疾病が回復すること、周囲に感染を広げないためにも、できるだけ早く適切な治療を受けることが重要こと

3時間目

【性感染症の予防】

- 性感染症の疾病概念や感染経路について
- 性感染症には正しい予防方法があること。

4時間目

【エイズの予防】

- エイズの疾病概念や感染経路
- 感染リスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があること
- 疾病等のリスクを軽減し健康を保持増進・回復する方法を伝えられること。



生徒の実態

知識・技能

- 1年時に生殖機能の成熟を学んでいる
- プライベートパーツを用いて授業を展開し、人権教育とのつながりをもたせている
- 普段の生活から「性」を軽視した言動もみられる。
- 実際に自分ごととして捉えて生活できていない。
- 学習内容を忘れてしまったり、プライベートパーツの意味を履き違えて覚えている生徒がいる。

思考力・判断力・表現 等

- 自己の課題を見付け、文章や言葉で表現することが得意な生徒とそうでない生徒で二極化している。
- 対話的活動では、表現力が豊かで、授業の流れや取り組み方を理解すれば活発に発言ができる。消極的な生徒もいるが、正しい助言をすることで、仲間とコミュニケーションをとりながら意見を述べることができる。

学びに向かう力、人間性等

- 明るく前向な生徒が多い。
- 保健の授業にも積極的に参加をする。
- より深い理解を求めるための質問をするなど、粘り強く学習する姿がある。
- 自分からアクションをすることが苦手。
- 周りの様子を伺うことが多い。
- 「性」に関して、興味や自分の考えをもっているにも関わらず、発言することに抵抗がある



はじめに

1時間目 【感染症の広がり方】

- 病原体の種類によって、感染経路が異なること
- 感染症には広がる条件があること

2時間目

【感染症の予防】

- 感染症には3つの予防策があること
- 感染症に罹った場合は、疾病が回復すること、周囲に感染を広げないためにも、できるだけ早く適切な治療を受けることが重要こと

感染症の広がり

病名:

咳、痰、発熱、だるさ、体重減少、胸痛など、かぜの症状によく似ています。



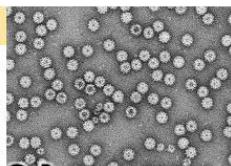
電子顕微鏡で見た結核菌



感染症の広がり

病名:

主な症状は吐き気、おう吐、下痢、発熱、腹痛であり、小児ではおう吐、成人では下痢が多いです。



「自分で決める」

そのためには

重要!

正しい知識



感染症の広がり 感染や発病に関わる条件

・人の条件

…生活習慣や体力・抵抗力 など



・自然環境の条件

…温度・湿度 など



・社会環境の条件

…住居、人口密度、交通 など



感染症の予防

3つの対策を覚えよう

病原体
そのものへの対策

感染しないための
対策

感染しても
発病しないための
対策

発生源を
なくす

感染経路を
断つ

体の
抵抗力を
高める

例: 消毒・加熱 など

例: マスク・うがい
3密を避ける など

例: 健康な体
予防接種など

授業研究会 3時間目

【性感染症の予防】

- 性感染症の疾病概念や感染経路について
- 性感染症には正しい予防方法があること。

導入

授業研究云
3時間目

【性感染症の予防】

・性感染症の疾病概念や感染経路について
・性感染症には正しい予防方法があること。

勝ちました～！

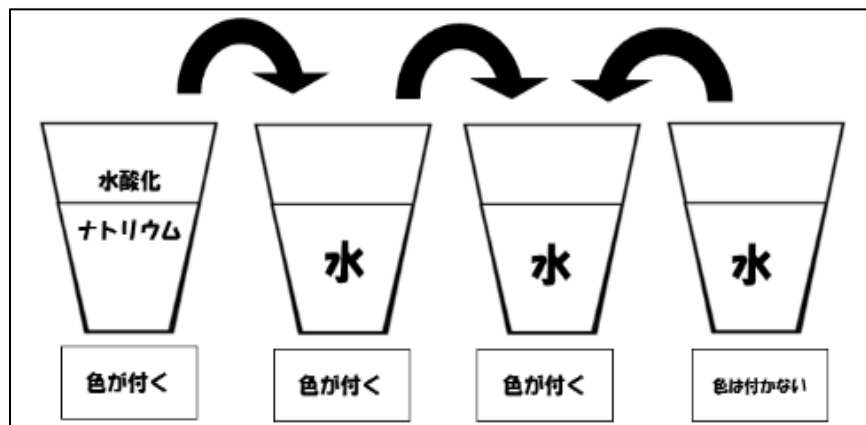
○じゃんけん水取りゲーム(ウォーミングアップ)

- ・じゃんけんをして勝った方が、カップに入った水を少しもらう。
- ・水が一番多かったコップの班が優勝！

実際は…

○感染拡大実験（※生徒には言わない）

- ・水酸化ナトリウムが入っているコップが一つだけある。
- ・じゃんけんの勝敗によってどんどん水が混ざる。見た目は変わらない。



※薬品なので、生徒に触らせない方が
良いという理科教諭からのご意見
あり。

安全性を考慮。



導入

○前時の内容の復習（感染症の予防）

○1年時に学習したスライドを使用し、「性」に関する学習を

性について(復習)
性 = 命 の勉強
中1の時に勉強しました。

取り返しのつかない
犯罪被害に
巻き込まれることも

性について(復習)

大切な人を傷つけないため、
自分を守るため、
正しい知識・行動

性について(復習)
口 胸 性器 お尻
人の『**命**』に関わる場所
体の内部につながり 妊娠・出産・生命 に関わる部分

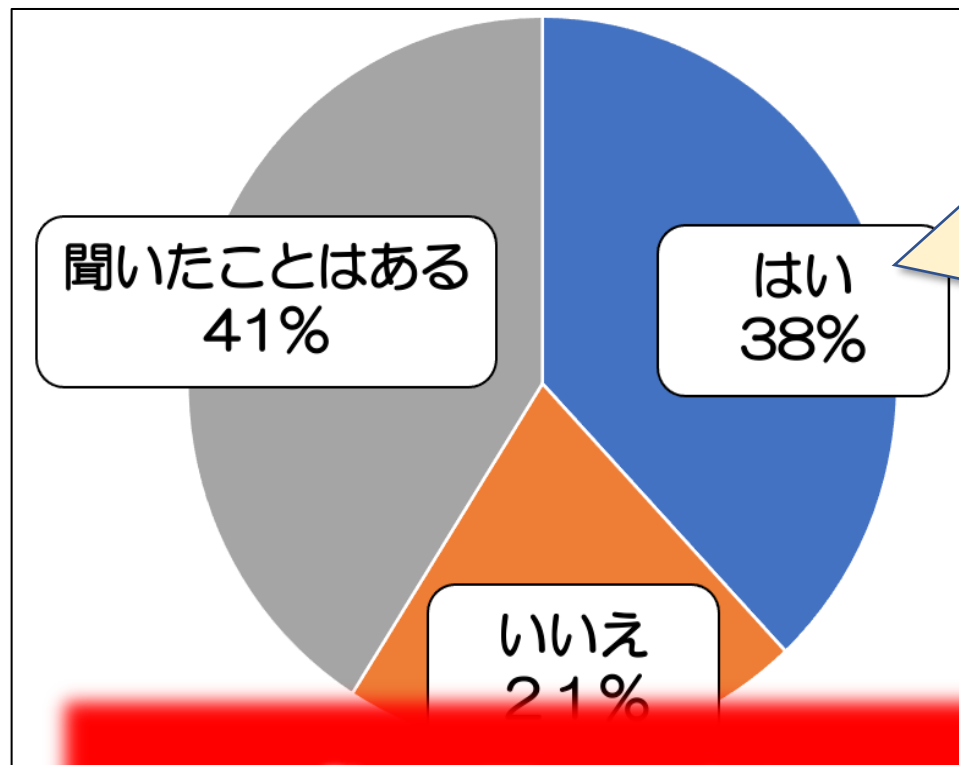
性について(復習)
性や性器は
人権そのもの
大切にすることがあります

性について(復習)
選択に迷ったり困った時、
正しい知識は
きっとあなたの役に立ちます。



導入

「プライベートパーツ」は知っていますか？



・具体的に答えられる人もいることがわかった。

・半分以上の人は何のことなのか理解していない。

覚えていない。

自分ごととして捉えられていない

展開

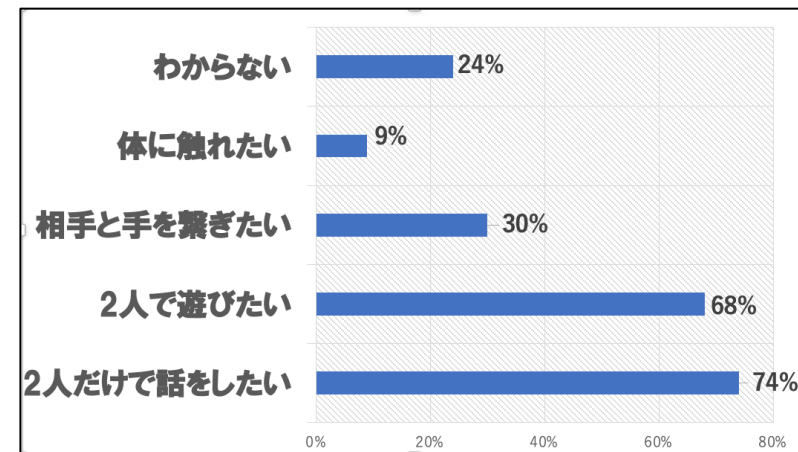
○基礎知識の習得

- ・性感染症の感染経路が性的接触であること。
- ・性に関するアンケート結果の確認。

→異性に対する興味や、相手に触れたいという気持ちが、心の成長と共に増えていることを交えながら、感染拡大について説明。

【質問】

好きな相手としてみたいことを3つ選んでください。



展開

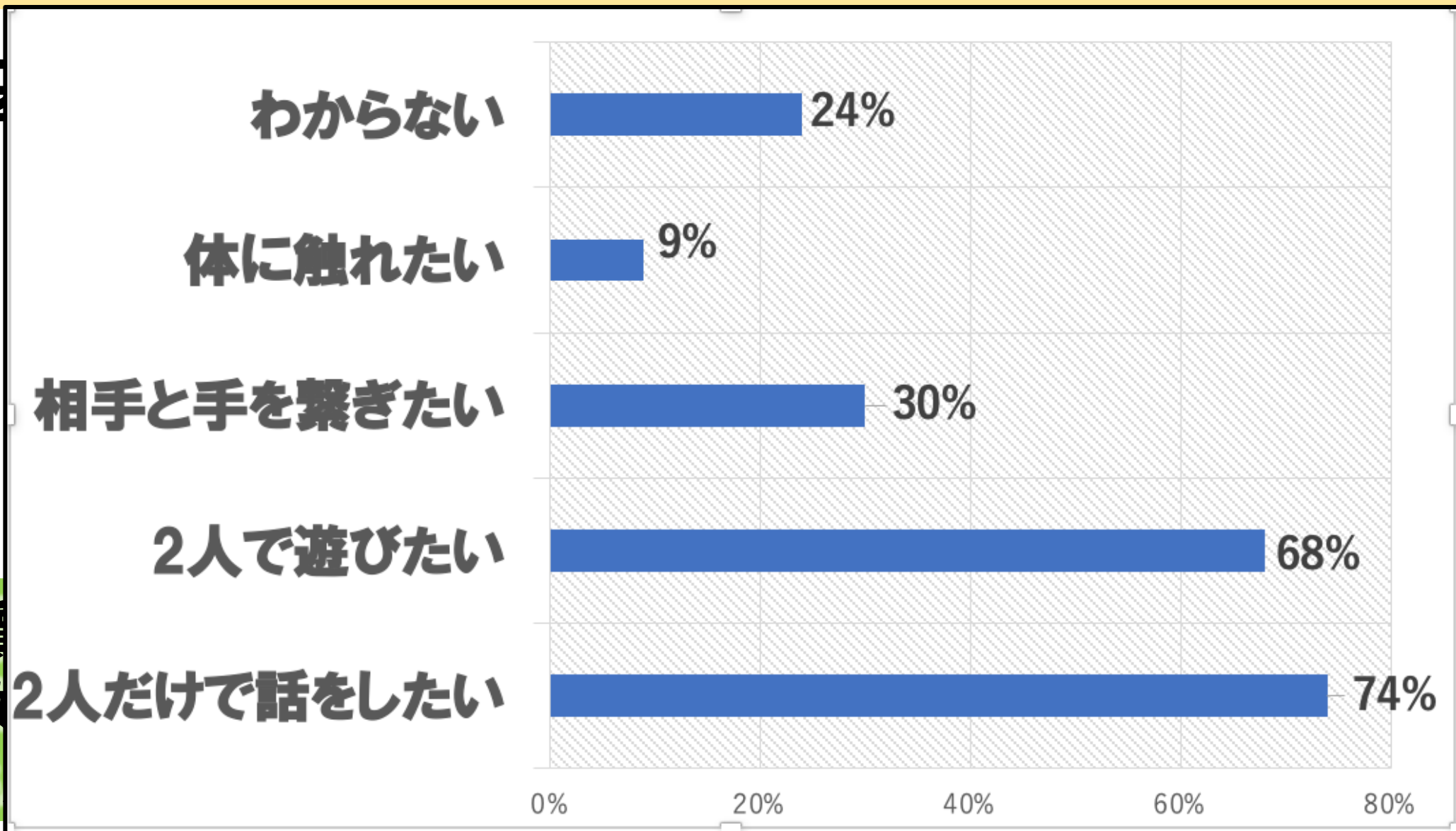
○

●

●

【
選

大に



展開

○ウォーミングアップで行った感染拡大実験の
意図と理由を伝え、結果を確認。

性的接触 によって感染する感染症



- ・自覚症状がない
- ・本人が気がつかない



感染を広げる可能性がある

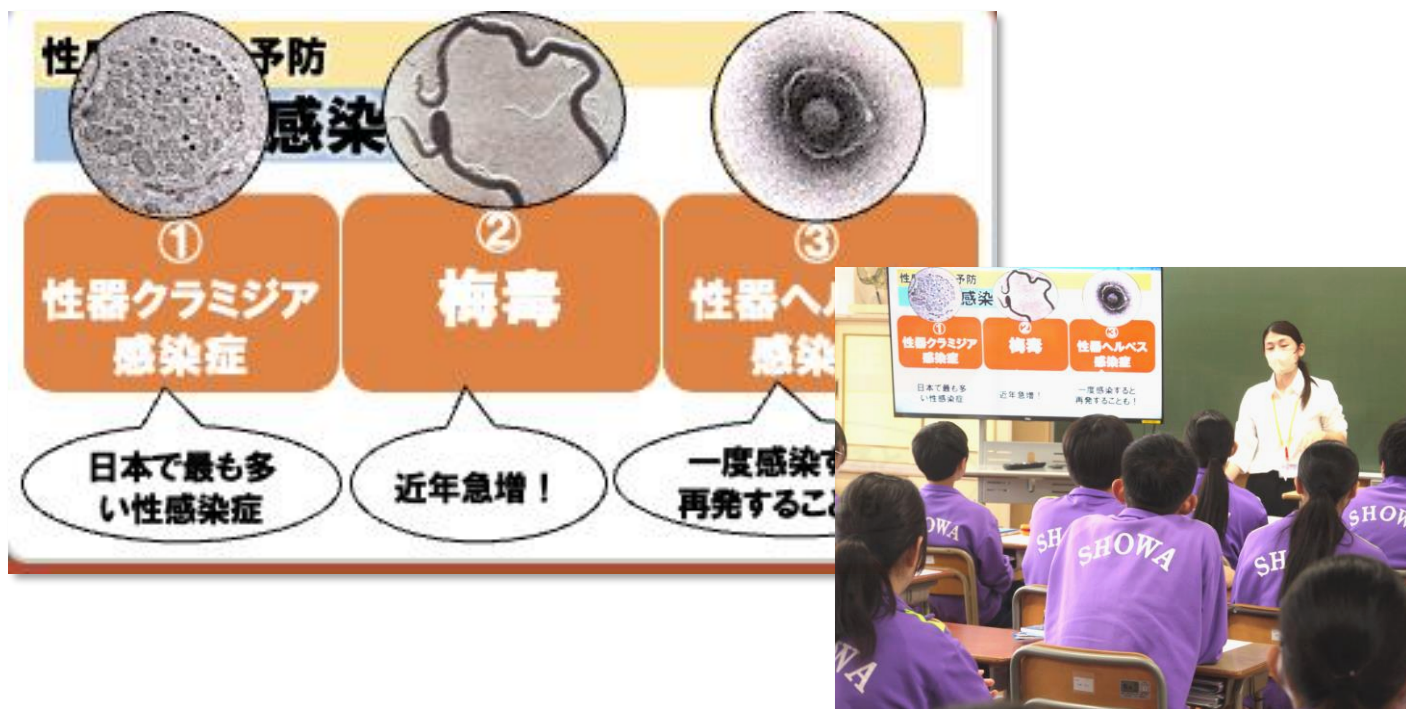


生徒たちは真剣に結果を見ていた。自分たちの班の水の色が変わると、驚きの声をあげていた。

展開

○性感染症の主な3つの性感染症

(性器クラミジア感染症、梅毒、性器ヘルペス感染症)をグループで調べ、
まとめ用紙に特徴をまとめさせる。



展開

○性感染症の主な3つの性感染症

(性器クラミジア感染症、梅毒、性器ヘルペス感染症)をグループで調べ、
まとめ用紙に特徴をまとめさせる。

梅毒 について

メンバー 岡村・高橋・山田・黒田

<特徴>

- ① 痛みやかゆみのない発疹が体に広がる。
- ② 症状が消えても感染が残っている。
- ③ 放置すると他の臓器にも影響を及ぼし、死に至る。



梅毒の症状

時期	特徴
第一期	・発疹が全身に広がる。 ・痛みやかゆみのない発疹が広がる。 ・発疹が消えても感染が残っている。
第二期	・発疹が全身に広がる。 ・痛みやかゆみのない発疹が広がる。 ・発疹が消えても感染が残っている。
第三期	・皮膚や筋肉にブツブツのような腫瘍。 ・痛みやかゆみのない発疹が広がる。 ・発疹が消えても感染が残っている。
第四期	・皮膚や筋肉にブツブツのような腫瘍。 ・痛みやかゆみのない発疹が広がる。 ・発疹が消えても感染が残っている。

<症状>

第一期：感染部分にリンパや潰瘍

第二期：全身に赤い発疹(バラ疹)

後期：皮膚や筋肉にブツブツのような腫瘍

※先天梅毒→母親だけでなくお腹の中の子にも影響する。

性器クラミジア について

メンバー 平山・増田・橋本・坂田

性器クラミジアとは？ 性細胞による感染。

主に女性(10〜20%)の患者が多い。20年ほどは、男性の患者数も増加してきている。

<女性症状>

- ① 子宮頸管に炎症が起こる。
- ② 下腹部痛、不正出血、下腹部痛、性交痛など。
- ③ 白い下分泌物(菌が多い場合)。

ほとんどは、症状がない。

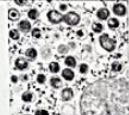
<男性症状>

- ① 尿道、炎症(肛門も!!)
- ② 排尿痛、性交時に痛み、射精後に尿道口から膿が出る。
- ③ 肛門、肛門周囲に腫瘍。

痛みがひどい！

男性不妊に繋がる!!

共通して、"なんでも"の感染もある!





性器ヘルペス について

メンバー 武井・竹本・岩田

<特徴>

男女ともにかかる病気。

初めて感染した場合は痛痒が強く大変!

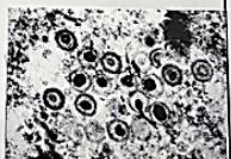
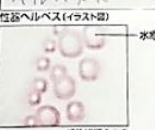
<症状>

女性になりやすい

感染してから5日〜10日くらいで発症する。

ヘルペスは一生体内に残る!

「無症状」状態の人にもうつすことがある。


梅毒 について

メンバー 小高・長澤・野中

・性器や口の中に、しこり、ぶくれが出来る。

・痛みやかゆみのない発疹が全身に広がる。

・症状が消えても感染が残っている。

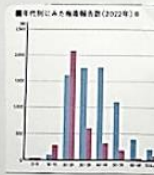
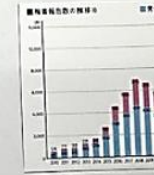
・治療しないと、放置していると臓器に病巣が残り、時には死に至る。

・性器や口の中に、しこり、ぶくれが出来る。

・痛みやかゆみのない発疹が全身に広がる。

・症状が消えても感染が残っている。

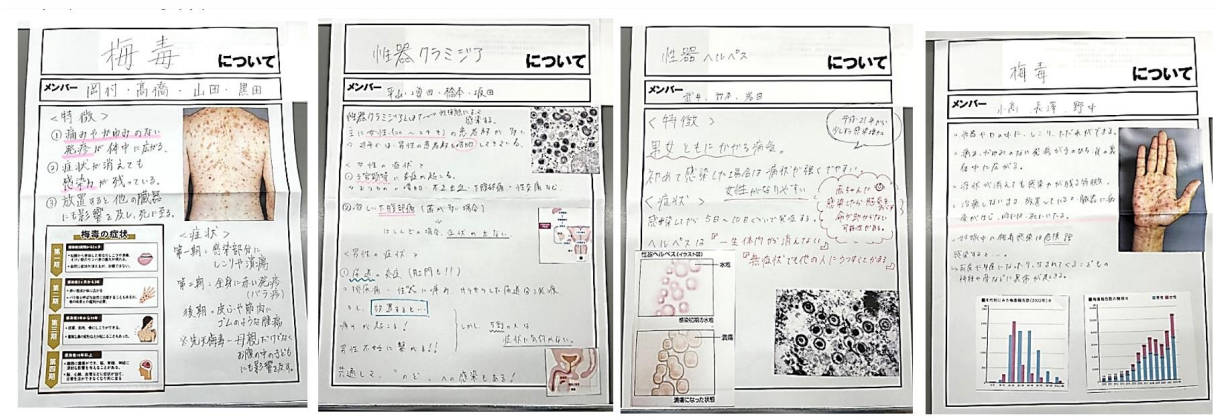
・治療しないと、放置していると臓器に病巣が残り、時には死に至る。

展開

○性感染症の主な3つの性感染症

(性器クラミジア感染症、梅毒、性器ヘルペス感染症)をグループで調べ、
まとめ用紙に特徴をまとめさせる。



情報量が多いと脱線してしまう
可能性があるので、前もってま
とめておいた資料から、各班ご
とに要点を絞り、図や写真をう
まく活用しながら用紙にまとめ
ていく。

展開

○性感染症の主な3つの性感染症

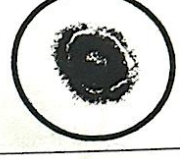
(性器クラミジア感染症、梅毒、性器ヘルペス感染症)をグループで調べ、
まとめ用紙に特徴をまとめさせる。

号車ごとに担当した性感染症の特徴について調べた内容を発表。

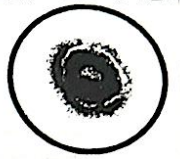
展開

○性感染症の主な3つの性感染症

(性器クラミジア感染症、梅毒、性器ヘルペス感染症)をグループで調べ、
まとめ用紙に特徴をまとめさせる。

① 性器クラミジア感染症	② 梅毒	③ 性器ヘルペス感染症
		
女性 不正出血 患者数が 多い 男性 かゆみ 女性に 多い 症状がひどい	ほうち → ゴンorrに× 死にいたる 年々感染者が 増加している。	男女共に感染、赤ちゃんにも 一生体内から消えない

○発表を聞いて、特徴などわかったことをメモしましょう。

① 性器クラミジア感染症	② 梅毒	③ 性器ヘルペス感染症
		
感染部位(??) 目、のどにも発症。 感染者一番(??)	症状が消えて 残っている はれ、しこり 感染者年々(増) 20~30歳(??)	一生体内から消えない! 性器に水疱。 排尿時に痛み。

わかったことや気になったワードを簡単にメモできるようにする。

展開

○自分ごととして捉えられるように説明をし、感染した時にどのような行動をとるのか、具体的に考える。

性感染症の予防	感染しないために
 大切	正しい知識を知っておくこと。 正しい知識は、自分、パートナーのことを守ってくれる。
 大切	コンドームを正しく使用する。 正しく使用することで、性感染症を防ぐことができる。
 大切 プリント記入	性的接触を避けること。 正しい判断と行動を。安全なパートナーを。



具体的にイメージしやすいようにキーワードをワークシートに記載。

まとめ

性感染症の予防

感染してしまった場合



性感染症は 自然に治らない

性感染症の予防

しっかり考えて欲しいこと。



**「他人事」ではなく
「自分ごと」としてとらえる。**

**「自分の身にも起こりうる問題」
なのです。**

生徒の感想（学習プリントより）

性感染症は、意外と身近にあるもので、正しい知識をもち、正しい行動をしようと、最悪死に至ることもあった。中でも、性感染症の後の症状で、生まれてくる新しい生命に与える影響が一番嫌なので、今日学んだことを他人事とは思わずに、将来の自分とパートナーを守れるように、正しい行動をとれるようにしたい。

今日学んだこともあって、今や将来パートナーができて、そのようなことが本当に自分や相手にとって正しい行動なのかよく判断できたいなと思った。また、自分だけでなく友達にも正しい知識を伝えてあげたい。自分は女性だからと注意したいし、将来の赤ちゃんを育てる上で、いかに、今日しっかりと予防をしていきたいです。

自分たちも、そのパートナーの将来のためにも、正しい知識や行動を知った上で判断しなければならない。また、自分たちもまた感染しないように予防することも大切だということを知ったので、正しい知識と行動の仕方として、身につけて、生きていきたい。だから、自分の身にかかるとして、おろそかにせず、専門家に相談できるようにしたい。

正しい知識を知ることで、パートナーや子ども、自分自身の安全を守れるようにしたいと思った。死に至ることもあるので、しっかり予防して、責任のとれる行動をしていきたい。正しい判断をして、無責任なことほしないようにしたい。

まとめ

- 自分ごととして捉えられるように説明をし、感染した時にどのような行動をとるのか、具体的に考える。

今日学んだことも含めて、今や将来パートナーができて、そのようなことが本当に

自分や相手にとって正しい行動なのかよく判断できたらいいなと思う。

また、自分だけでなく友達にも正しい知識を伝えてあげたい。

自分は女性だからこそ注意したいし、将来妻ちゃんをうめようって

いうように、今日からしっかり予防もしていきたいです。



まとめ

○自分ごととして捉えられるように説明をし、感染した時にどのような行動をとるのか、具体的に考える。

自分たちや、そのパートナーの将来のために、正しい知識や行動を知ることが判断しなければならぬ。また、自分たちの子どもに感染しないように予防することも大切だ。ということを知った上で、正しい知識と行動の仕方とをしっかり身につけた上で、生活したい。だから、自分の身にもっとして、みちについて、専門医に相談できるようにしたい。



成果と課題

- まとめの内容から、
- 「将来のパートナーや“命”を守りたい」
 - 「今から行動に移さないといけない」
 - 「専門医に相談することは大切なこと」
- など、正しい知識を行動に移すことは大切だという内容の感想が多く見られた。

「性」に関
重く受け

4時間目 【エイズの予防】

- ・エイズの疾病概念や感染経路
- ・感染リスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があること
- ・疾病等のリスクを軽減し健康を保持増進・回復する方法を伝えられること。

という実態を



高等学校

「生涯を通じる健康」

「現代社会と健康」



生涯

障害を通じて自らの健康を適切に管理し
改善していく脂質や能力の育成

成果と課題

●知識の習得としての時間

→ 2時間程度で行った方が余裕を持って授業を進められた。

●保護者との連携

→ 学校の役割、親の役割の理解。

●外部指導者の活用

→ より深い学びに



成果と課題

**実態を把握すること
何を学ぶのか
なぜ必要なのか
どんな変容ができるのか
どんな力が身につくのか**



これらを明らかにしながら進めることの大切さを実感